



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社エフピコ

コード番号 7947 URL <http://www.fpco.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 守正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部本部長 (氏名) 瀧崎 俊男

TEL 084-953-1145

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	120,476	12.3	12,129	4.5	12,628	6.1	6,878	△3.8
23年3月期第3四半期	107,290	10.1	11,606	11.5	11,905	11.6	7,151	14.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 6,827百万円 (△2.4%) 23年3月期第3四半期 6,997百万円 (6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	332.33	—
23年3月期第3四半期	342.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	170,326	68,859	40.4	3,325.28
23年3月期	155,738	64,440	41.4	3,111.61

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 68,827百万円 23年3月期 64,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	58.00	—	58.00	116.00
24年3月期	—	58.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	58.00	116.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	13.7	14,494	11.0	14,900	10.7	8,600	8.0	415.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	22,142,106 株	23年3月期	22,142,106 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,443,967 株	23年3月期	1,443,850 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	20,698,207 株	23年3月期3Q	20,876,478 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表にレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生で大打撃を受けた後、持ち直しの動きが見られたものの、欧州の金融危機及び急激な円高の進行など依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は、販売面におきましては、東日本大震災の影響による消費の落ち込みや、製品値上げの実施に伴い不採算取引の見直しを行いました。他方、汎用製品及び軽量化製品の拡販に加え、新デザイン容器や新機能容器であるマルチF P（-40℃～+110℃の耐寒・耐熱を備えた発泡ポリスチレン容器）の採用も好調であったことから製品売上数量は前年同期比104.7%と伸長しました。

製品売上高は、販売数量が伸びたことに加え、平成22年12月に鶏卵パックや農産物向け容器の製造販売をするダイヤフーズ㈱を連結グループ化したこと、第2四半期連結会計期間からお客様にご協力いただいた製品値上げの効果が顕在化したことから、前年同期比108.3%と堅調に推移しました。

商品売上高は、平成22年10月に包装資材問屋のインターパック㈱が連結グループに加わり、商品取扱量の拡大に努め、前年同期比124.7%となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,204億76百万円、前年同期に比べ131億86百万円の増収（前年同期比112.3%）となり、第3四半期連結累計期間としては過去最高の売上高となりました。

利益面におきましては、前期第4四半期連結会計期間から当社製品の原材料価格は次第に高騰を続け、原材料コストは前年同期に比べ約33億円の増加となり、設備投資など経費が約10億70百万円の増加となりました。一方、売上数量の増加、新製品効果、グループ全体でのコスト改善に加え、製品値上げによる効果などの利益改善額は総額で約51億円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益は126億28百万円（前年同期比106.1%）となり、第3四半期連結累計期間としては過去最高の経常利益となりました。

当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は、特別損失として、東日本大震災に関わる費用1億89百万円及び電力制限対策費（自家発電機移設費用）51百万円、合計2億41百万円を計上したことに加え、法人税率引下げに関する法律が公布されたことに伴い税金費用が1億96百万円増加した結果、68億78百万円（前年同期比96.2%）となりました。

設備面では、平成23年5月より中部第2配送センターとアイ・ロジック中部ピッキングセンターが稼動し、物流品質及びサービスレベルの更なる向上を図るとともに、流通コスト削減の提案を推し進めており、8月には、地方を地盤に店舗展開する大手スーパーマーケットへ食品用包装資材の納入を開始しました。

また、平成23年5月には、中部リサイクル工場のPET（ポリエチレンテレフタレート）メカニカルリサイクルプラントで生産された再生PETフレックを食品容器用途に使用することについて、米国食品医薬品局（FDA）よりNo Objection Letter（NOL）を取得しました。今夏には、中部リサイクル工場にてPETメカニカルリサイクルプラントの2号機が稼動の予定です。

さらには、PET二軸延伸製品（耐熱性向上と強度アップを実現したPET透明容器では世界初となる二軸延伸シートからの成型品）の生産と、商品取扱量拡大に向けたアイ・ロジック関東ピッキングセンターの拡充を目的としたピッキングセンターを併設した関東新工場の建設が、今春の稼動に向けて進行しております。

なお、東日本大震災の被災により稼動を停止しておりました東北工場は、生産を山形工場に完全移管しており、今後の東北地区復興に備えたピッキングセンターにリニューアルのうえ、商品の一層の拡販に努めてまいります。

社会的責任としての障がい者雇用の推進につきましては、全国9ヶ所の選別工場を主たる事業所として、折箱タイプ容器組立工場、特例子会社、リサイクル選別分野での事業提携会社も含めた事業所・工場等において、グループ全体で平成23年12月末現在387名の障がい者を雇用しております。これら障がい者は、主としてリサイクル回収トレーの選別作業に従事し、リサイクルペレットの品質向上に貢献しております。なお、営業外収益内の補助金収入5億13百万円につきましては、主に障がい者就労支援に関わる助成金等で、これにより、製造に関するリサイクルコストの低減につながっております。

また、平成24年2月22日からの3日間、『春呼ぶ 元気売り場 百選』をテーマにエフピコフェア2012を開催いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,703億26百万円となり、前連結会計年度末に比べて145億87百万円増加いたしました。

これは主に受取手形及び売掛金の108億44百万円増加、商品及び製品12億6百万円並びに有形固定資産合計29億27百万円などの増加によるものであります。

負債合計は、1,014億66百万円となり、前連結会計年度末に比べて101億68百万円増加いたしました。

これは主に支払手形及び買掛金48億39百万円増加、短期借入金、コマーシャル・ペーパー及び長期借入金合計33億49百万円の増加、その他流動負債29億7百万円の増加によるものであります。

また、純資産合計は、688億59百万円となり、前連結会計年度末に比べて44億19百万円増加いたしました。

これは主に利益剰余金44億76百万円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より9億45百万円増加し、142億19百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、93億77百万円（前年同期は62億50百万円の資金獲得）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益122億91百万円と減価償却費70億98百万円及び仕入債務の増加48億40百万円などによる資金の増加、売上債権の増加108億38百万円及び法人税等の支払額49億7百万円などによる資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、74億21百万円（前年同期は53億16百万円の支出）となりました。

これは主に配送センター・ピッキングセンター及び工場生産設備等の取得による支出72億59百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、10億8百万円（前年同期は11億77百万円の獲得）となりました。

これは主に借入金等の純増加額33億49百万円、配当金の支払23億58百万円及びリース債務の返済による支出19億92百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原材料価格動向に加え景気は足踏み状態が続き、依然として先行き不透明な状況が予想されます。平成24年3月期の連結業績につきましては、平成23年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,273	14,219
受取手形及び売掛金	31,540	42,385
販売用不動産	12	12
商品及び製品	12,573	13,779
仕掛品	144	125
原材料及び貯蔵品	1,976	2,122
その他	4,538	3,773
貸倒引当金	△47	△59
流動資産合計	64,011	76,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,469	34,480
機械装置及び運搬具（純額）	8,240	8,231
土地	26,384	26,639
リース資産（純額）	9,455	8,481
その他（純額）	5,694	8,339
有形固定資産合計	83,244	86,171
無形固定資産		
のれん	2,192	1,808
その他	963	890
無形固定資産合計	3,155	2,699
投資その他の資産	5,327	5,096
固定資産合計	91,727	93,967
資産合計	155,738	170,326

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,905	23,744
短期借入金	19,250	19,510
コマーシャル・ペーパー	15,000	15,000
未払法人税等	2,465	2,768
賞与引当金	1,576	862
役員賞与引当金	90	73
その他	9,396	12,303
流動負債合計	66,685	74,262
固定負債		
長期借入金	14,135	17,225
退職給付引当金	1,837	1,995
役員退職慰労引当金	1,047	1,086
その他	7,591	6,897
固定負債合計	24,612	27,204
負債合計	91,298	101,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,150	13,150
資本剰余金	15,843	15,843
利益剰余金	40,092	44,569
自己株式	△4,937	△4,937
株主資本合計	64,148	68,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256	201
その他の包括利益累計額合計	256	201
少数株主持分	35	32
純資産合計	64,440	68,859
負債純資産合計	155,738	170,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	107,290	120,476
売上原価	73,885	83,682
売上総利益	33,405	36,794
販売費及び一般管理費	21,798	24,665
営業利益	11,606	12,129
営業外収益		
受取利息	13	6
受取配当金	76	67
補助金収入	400	513
その他	333	335
営業外収益合計	824	922
営業外費用		
支払利息	371	305
コマーシャル・ペーパー利息	10	14
その他	144	103
営業外費用合計	526	423
経常利益	11,905	12,628
特別利益		
固定資産売却益	1	2
貸倒引当金戻入額	77	—
賞与引当金戻入額	32	—
受取保険金	22	—
負ののれん発生益	219	—
その他	66	—
特別利益合計	420	2
特別損失		
固定資産除売却損	174	20
投資有価証券評価損	63	75
災害による損失	—	241
和解金	56	—
その他	—	0
特別損失合計	294	338
税金等調整前四半期純利益	12,031	12,291
法人税、住民税及び事業税	4,319	5,227
法人税等調整額	558	182
法人税等合計	4,878	5,410
少数株主損益調整前四半期純利益	7,153	6,881
少数株主利益	1	2
四半期純利益	7,151	6,878

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,153	6,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△155	△54
その他の包括利益合計	△155	△54
四半期包括利益	6,997	6,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,996	6,824
少数株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,031	12,291
減価償却費	6,714	7,098
負ののれん発生益	△219	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△863	△714
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18	△17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△85	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	72	38
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	129	157
投資有価証券評価損益 (△は益)	63	75
固定資産除売却損益 (△は益)	173	18
受取利息及び受取配当金	△90	△73
支払利息	381	319
災害損失	—	241
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,740	△10,838
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△111	△1,359
未収入金の増減額 (△は増加)	333	386
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,355	4,840
その他	△424	1,991
小計	12,702	14,460
利息及び配当金の受取額	90	73
利息の支払額	△368	△303
保険金の受取額	22	500
災害損失の支払額	—	△445
和解金の支払額	△56	—
法人税等の支払額	△6,140	△4,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,250	9,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,637	△7,259
無形固定資産の取得による支出	△208	△199
投資有価証券の取得による支出	△14	△75
投資有価証券の売却による収入	522	8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△115	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,466	—
長期貸付けによる支出	△63	△22
長期貸付金の回収による収入	494	85
その他	239	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,316	△7,421

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,720	1,400
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	5,000	—
長期借入れによる収入	13,000	13,700
長期借入金の返済による支出	△9,250	△11,750
自己株式の取得による支出	△3	△0
リース債務の返済による支出	△2,299	△1,992
配当金の支払額	△2,249	△2,358
少数株主への配当金の支払額	—	△6
その他	△300	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,177	△1,008
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,111	945
現金及び現金同等物の期首残高	11,102	13,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,214	14,219

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。